

平成 21 年度津地区標準化事業報告

【平成 21 年度津地区標準化事業】

- 1 県内共通プール血清を使用した地区サーベイは 6 月、12 月、に試料配布して集計作業後、地区懇談会を開催した。
地区内の各項目の精度管理状況は、施設間での差も見られず良好に精度が維持されている。ALT のみ毎年作成されたプール血清において、3 ヶ月毎に 5 % ずつ上昇していく現象がみられるが、 -80°C に適正保存されているのも拘わらず疑問点である。安定するまで 1 年位保管した試料とした方が良いのかもしれない。
- 2 3 回の標準化懇談会には、毎回出席者が少なく残念であるが、検体検査データ異常における症例報告を紹介した。検体検査データは宝の山であり、客観的に解析することで、様々な病態が推定されるので、日常業務の中で臨床医に対して積極的に示唆する使命感を養う意味から紹介させて頂いた。
地区単位での標準化事業を平成 11 年度から、引き受け手が無い為に遂行してきたが、今年度で漸く交替して頂くことになった。
幹事の交替後も津地区標準化事業に協力していきますが、これまで以上の各施設の方々の参加を強く熱望したい。
適正な精度管理が遂行された検査データを臨床に提供するとともに、異常値解析も行い積極的に臨床へ参画する姿勢を期待したいことを祈念して最後の報告とする。